

龍谷大学真宗学会第 80 回大会御案内

慈光照護のもと、会員の皆様におかれましては益々ご健勝にて二利双行のことと拝察申し上げます。

真宗学会は大正 12 (1923) 年に創立され、103 周年を迎えます。これひとえに会員の皆様はじめ、常に暖かいご理解とご支援を賜ってきた諸機関、関連学会の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。今年度第 80 回大会は、真宗学の継承と進展を目指し、私たち自身の研究教育の成果を学びあう機会としたいと存じます。例年通り、午前中は研究発表、午後には記念講演を予定しております。

皆様のご参加を仰ぎ、有意義な大会となりますことを念じております。

令和 8 (2026) 年 9 月 9 日

龍 谷 大 学 真 宗 学 会

学 会 長 鍋 島 直 樹

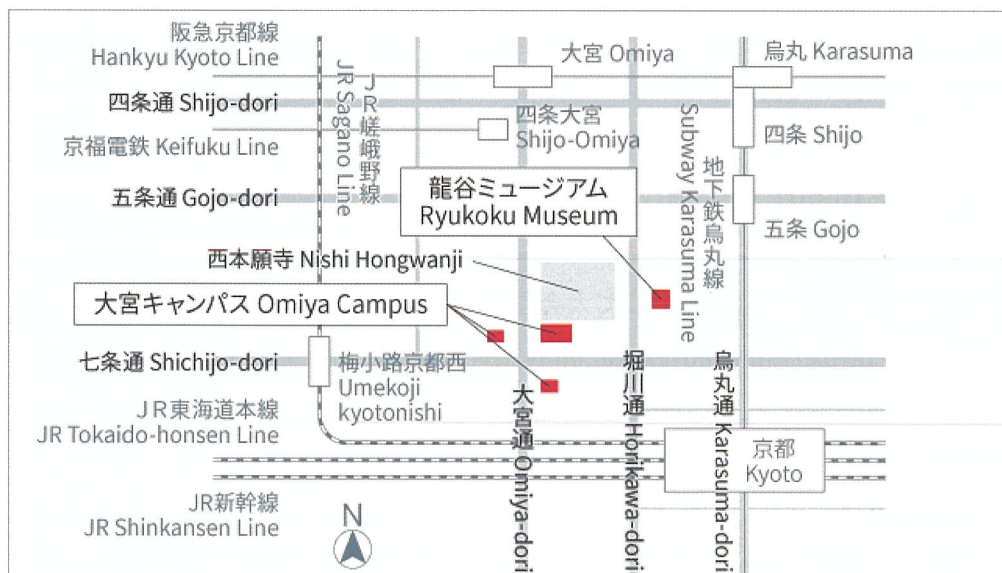
大会委員長 殿 内 恒

大 会 要 項

期 日 令和 8 (2026) 年 11 月 5 日 (木)

場 所 龍谷大学大宮学舎 清和館 3 階ホール

大宮学舎周辺部



龍 谷 大 学 真 宗 学 会 事 務 局

電話 075-343-3311 (内線 5302)

大会日程

1. 研究発表 (9:15～12:15)

- | | |
|--|------------------|
| ① 宇野千代と浄土真宗 ―精神的支柱としての故郷と寺院― | 藤谷 欽英 (龍谷大学博士課程) |
| ② 隆寛における天台典籍の受容について | 鳥喰唯誓 (龍谷大学博士課程) |
| ③ 親鸞の太子観 ―叡福寺参籠との関係を中心に― | 小松俊一郎 (龍谷大学研究生) |
| ④ 『教行信証』における疑蓋の典拠とその背景 | 能島 覚 (個人会員A) |
| ⑤ 国宝・親鸞筆『観無量寿経註』『阿弥陀経註』の成立過程
―原本調査に基づく再検討― | 深見慧隆 (龍谷大学講師) |
| ⑥ 真宗の国際伝道と社会的実践
―英語圏における "The Golden Chain" と多文化共生― | 釋氏真澄 (龍谷大学講師) |
| ⑦ 『讃阿弥陀仏偈』後半部の構造 ―仏名信仰の受容と再編― | 内田准心 (龍谷大学准教授) |
| ⑧ 北米仏教団における日本人移民得度の歴史的研究
―1920年代の社会的・国際的背景と個人史の再検討― | 打本弘祐 (龍谷大学教授) |

2. 評議員・理事会 (12:20～13:20)

評議員・理事の先生方は、昼食をご用意いたします。

3. 記念講演 (13:30～15:00)

講師：深川 宣暢 (龍谷大学名誉教授)

題目：真宗教義の基本構造―他力回向義の確認―

4. 記念撮影 (15:10～15:20)

5. 総会 (15:30～16:00)

※感染症の拡大などにより、予定を変更して大会を開催する場合があります。その際は、龍谷大学真宗学会ホームページ (<https://shinshu-gakkai.omiya.ryukoku.ac.jp/>) にて詳細をお知らせします。

大会本部連絡先

〒600-8268

京都市下京区七条大宮

龍谷大学大宮学舎 殿内 恒 研究室 及び

同 真宗学合同研究室 運営協議会 鈴木 一世

E-mail: ryukokushinsyu@gmail.com